

# 交通事故ゼロ願い 飛び出し坊や寄贈

## 千種高生 授業で制作5体、市に

粟 宍

千種高校（安粟市千種町）アクティブタイプの3年生たちが、授業で制作した「飛び出し坊や」5体を市に寄贈した。同高のイメージキャラクターを模した作

品のほか、夜でもライトが当たれば目立つ黄色のたすきを描いた子ども形を制作。1体は上着を千種小学校の体操服と同じ青色にし、運転手に一層の注意を促す。



授業で制作した飛び出し坊やを寄贈した千種高校生たち＝ライブリーちくさ

同類型では外部の専門家の指導を受けて多彩な体験活動に励み、地域貢献も行う。今回寄贈したのは2020年度の3年生約10人が制作した2体と、21年度の3年生約10人が作った3体。1月下旬に千種市民協働センター「ライブリーちくさ」(同町)を訪れ、市職員に手渡した。希望する町内の自治会に提供される。

3年の垣口唯翔さん(18)は「運転手も歩行者も、飛び出し坊やを見て安全を再確認し、悲惨な交通事故がなくなればいい」と話した。

(村上晃宏)